



平成 27 年 2 月 3 日

各 位

会社名 三井造船株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田中 孝雄
 (コード：7003、東証第一部)
 問合せ先 財務経理部長 塩見 裕一
 (TEL 03-3544-3225)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 11 月 6 日に公表した平成 27 年 3 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	760,000	18,000	20,000	10,000	12.09
今回修正予想 (B)	820,000	18,000	22,000	12,000	14.71
増減額 (B-A)	60,000	0	2,000	2,000	—
増減率 (%)	7.9	0.0	10.0	20.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	670,067	19,969	26,179	42,854	51.80

修正の理由

本日公表した平成 27 年 3 月期第 3 四半期決算の状況並びに連結子会社の三井海洋開発株式会社 (コード番号 6269) が本日公表した業績予想の修正等を踏まえて修正いたしました。

売上高は、エンジニアリングセグメントにおいて受注遅れの影響や一部工事の進捗遅れなどにより減少しますが、船舶海洋セグメントは三井海洋開発株式会社の上方修正により増加し、全体としても前回発表予想を上回る見込みです。

営業利益は前回予想から変更ありませんが、船舶海洋セグメントが三井海洋開発株式会社の上方修正などにより増益を見込む一方、エンジニアリングセグメントは減収の影響や一部の海外工事の採算悪化及び海外子会社の減益などにより営業損失となる見通しです。

経常利益につきましても三井海洋開発株式会社の増益や為替の影響により増加の見込みです。

当期純利益は、予定されている法人実効税率の引き下げに伴う繰延税金資産の取崩しなど、税金費用の増加による減益要因はあるものの、昨年度に連結子会社となった昭和飛行機工業株式会社 (コード番号 7404) の株式を追加取得したことに伴い、負ののれん発生益約 48 億円を特別利益へ計上したことなどにより増加する見込みです。

なお、本業績予想の前提となる為替レートは、最近の為替動向を踏まえ、1 米ドル=115 円に変更しております。

平成 27 年 3 月期 セグメント別通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	前回発表予想 (A)		今回修正予想 (B)		増減額 (B-A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
船舶海洋	400,000	6,000	480,000	10,000	80,000	4,000
機 械	150,000	8,000	150,000	8,000	0	0
エンジニアリング	160,000	1,000	140,000	△3,000	△20,000	△4,000
そ の 他	50,000	3,000	50,000	3,000	0	0
合 計	760,000	18,000	820,000	18,000	60,000	0

(注) 上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により上記数値と異なる可能性があります。

以上